



三稜会会報

津島高校同窓会



令和元年7月9日 第68号

発行 三稜会
(津島高校同窓会)
事務局(津島高校内)
〒496-0853
津島市宮川町3-80
電話 0567-28-4158
発行人 北角 浩一

新時代の人材育成

三稜会会長

北角 浩一



元号が令和に変わり新しい時代がやってきました。

多くの会社や学校でのあいさつにこの「新時代」という言葉がたくさん使われたのではないでしょう。今年一〇回目となる三稜会が主催する「稲葉真弓賞」においても次回のテーマは「新時代」となりました。まさに新時代を担う現役高校生たちが、どのように新時代を捉えているのか、今から楽しみです。

津島高校は来年一二〇周年を迎えます。この間、明治・大正・昭和・平成・令和という時代を過ごしてきた母校の伝統の重さを改めて感じさせられます。

今から各時代を振り返ってみると、文明開化と産業発展の時代、文化が花開いた華やかな時代、世界から植民地と差別をなくすことに成功した時代、平和の中で繁栄を謳歌した時代、いずれの時代も影はあったとしても着実に前に進んだ時代ではなかったでしょうか。

来年の一二〇周年記念事業は、新時代を担う若い人たちの成長に役に立てる事業を柱にしております。先の一〇周年の際には、生徒の学習力強化を目的として興学館を建設いたしました。そして、一二〇周年記念事業として、生徒たちの

体力向上を目的に体育館南隣にクラブハウスを建設することにしました。

また、本校では以前より国際交流の場として海外派遣事業を課外活動の一環として行っております。今回一二〇周年の記念事業の一環として基金を作り、生徒の負担を大幅に軽減し、魅力ある学校づくりに貢献したいと考えております。

最近では、海外から多くの方々が日本に住み、小中学校においてはクラスに数名の外国人児童や生徒がいることは当たり前になってきました。幼少の頃は、親の価値観や行動が子供に大きな影響を与えます。価値観の違う人たちとどう共存するかということは、これからの日本社会にとっても非常に重要な課題です。

私も仕事柄、海外に行く機会を多くいただきました。それまで何も疑問を持たなかった日本での当たり前の日常生活が、海外に出ることによって、特殊なことであることも理解できるようになりました。海外の方には日本に興味のある方も多く、日本の特殊性について質問もいただきます。冒頭に触れた「稲葉真弓賞」の第九回のテーマは「日本」でした。生徒たちは様々な視点で日本を語っており、私にとっても、いい勉強の機会となりました。

世界で起こっている重要なことのひとつとして、欧州の外国人移民の排斥の流れがあります。これは、価値観の共有がうまくいかずに、結果として社会が分断されてしまったことが原因のように思います。

国際化する社会の中での共存共栄は、価値観の共存共栄とイコールです。各国の宗教観から考えると価値観の共存を現できるのは日本人だけかもしれません。わが国をよく理解し説明できる日本人を本校の国際交流事業で育成することも新時代を担う人材育成につながると確信しています。これも重要な一二〇周年記念の事業です。

皆様の一二〇周年記念事業へのご協力をよろしくお願いいたします。

ホームカミングディにお越しください！

同窓生の皆様へ

なつかしの母校の三稜祭(学校祭)当日に同窓生やPTAの皆様を学校にお招きしています。

昨年は台風で翌日に順延されたにもかかわらず、多数のご来校がありました。今年も下記のとおり開催します！ご来校をお待ちしています！！

日時：9月4日(水) 午前9時より
(受付は正面玄関前です)

私は服部隆宏校長の後を受けて、本年四月に着任いたしました大野芳樹と申します。各界で活躍されている「三稜会」の皆様に対し、現役津島高校生一千余名にとつて、常に先輩方の存在感が心強い励ましとなっていることを、何よりの御支援と思ひ、まづもって深く感謝いたします。さて、学校の近況ですが、今年度創立一一九年目を迎える

県内でも有数の歴史を誇る伝統校で、今年度も三六〇名の新入生を迎えスタートいたしました。同窓生の皆様方が築き上げた伝統の浸透を図るとともに、地域の皆さまの期待に応えるために、校訓「知・仁・勇」のもとに、より大きく、より高い目標を掲げ、その達成に全力を尽くす人として育つよう、教育活動を充実させて取り組んでいるところです。

卒業生の進路につきましては、国公立大学の合格者数では、三年連続で一〇〇名を超えるという勢いのある津島高校です。しかも昨年度は、一二二名の合格者のうち難関と言われる大学にも多くの合格者を出すという素晴らしい成果を出してくれました。

他にも、部活動や学校行事が盛んで、平成二十八年度は、陸上部が全国大会で入賞し、文化部も含め多くの部がお互いに切磋琢磨して全国大



「日々是新」

校長 大野 芳 樹

会を目標に頑張っています。また、毎年九月には、本校の伝統行事「三稜祭」が三日間の日程で開催され、大変な盛り上がりを見せています。結びになります。私が心の師と仰ぐ松下幸之助氏の詩集『日々是新（ひびこれあらた）』の最後に『日々是新なれば、すなわち日々是好日（ひびこれこうじつ）』。素直で謙虚で、

しかも創意に富む人は、毎日が明るく、毎日が元気。さあ、みんな元気で、新しい日々を迎えよう』という言葉があります。生徒が毎日明るく元気に学校生活を送れるような学校づくりを目指して日々精進して参ります。

私ども教職員一同、同窓会との連携をさらに進め、皆様の期待に応えられるようにこれまで築き上げてこられた素晴らしい伝統に基づき、より一層地域から愛される学校として、「厳しくもあり温かい愛情ある」学校づくりを目指します。その上で、同窓生の皆様が胸を張って、今以上に津島高校を卒業したと言える学校にしていく所存です。同窓生の皆様には、これからも母校の教育振興と津島高校生の激励のため、今後とも御支援並びに御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、三稜会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

創立一二〇周年記念事業（骨子）

一、記念行事

（一）記念式典（令和二年十一月六日（金））

津島市文化会館で行う。

記念行事を行う。

記念式典終了後出席者（来賓・在校生）を対象に同窓生を講師として記念講演会を開催。

（二）記念祝賀会（令和二年度同窓会総会を兼ねる。）

令和二年九月二十七日（日） ホテル キャッスルプラザで開催。会費一万円

同窓生が母校を訪問するホームカミングデイ

津島高校三稜祭（文化祭） 令和二年九月上旬

二、記念事業

（一）「クラブハウス」の建設

体育館南側に部室及び更衣室（ミーティングルーム）を建設する。また、災害時には身障者や高齢者の避難所として使用する。

（二）国際交流基金の創設

津島高校生が海外留学する場合の留学費用を支援する。

（三）創立一二〇周年記念誌を発行する。

（四）稲葉真弓賞一〇周年記念誌の発行。

本校三稜会（同窓会）が主催する懸賞論文が一〇周年を迎えた記念誌。

（五）同窓会名簿の整理

名簿は発行しないが、同窓生のデータの再調査・更新を行う。

（六）募金

目標額六、〇〇〇万円

個人募金一口 五、〇〇〇円 法人募金一口 一〇、〇〇〇円

個人二口、法人一口以上寄付の方には、稲葉真弓賞一〇周年記念誌を贈呈。

個人三口、法人二口以上寄付の方には、創立一二〇周年記念誌と稲葉真弓賞一〇周年記念誌を贈呈。

※なお、募金活動の詳細については、準備ができ次第後日連絡致します。

令和元年度 総 会

津島高校卒業五十年をお迎えになる全日制二十二回生・定時制十九回生の皆様、誠に改めてとうございませう。新たな時代の幕開けとなる令和元年度は、私たち四十二回生が幹事学年として運営させていただくことになりました。三稜会総会・懇親会の準備を進めるにあたり、諸先輩の多大なるご協力・ご指導に大変感謝すると同時に、津島高校卒業生の絆の強さを改めて実感しております。校歌の『あらたなるのぞみを胸に』の様に、新しい時代に期待を寄せながら、三稜会の伝統を継承していきたいと考えています。

この総会の準備のために久しぶりに母校を訪れると、在校生から元気のいい挨拶をしていただき、清々しい気持ちになりました。また、三年間過ごした教室や当時と変わらぬ風景に、津島高校独特の穏やかな時間の流れを感じ、記憶が次々と蘇りました。その一方で旧講堂の奥には我々の時代には無かった自主学習するための「興学館」が建てられたこと、国際グローバル化を目指す教育環境の推進活動を行っていることなどを伺い、変わっていないようで、時代のニーズに著実に変わっていることを知りました。準備活動

総会に向けて

においては、四十二回生同士で初めて自己紹介しあう人もいましたが、すぐに打ち解けて楽しく活動を進めております。

本年もホームカミングデーは九月四日(水)に津島高校文化祭にて、三稜会総会・合同懇親会は九月二十九日(日)に名古屋駅前前のキャッスルプラザにて開催いたします。別日、異なる場所での開催のため皆様に御不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力の程よろしくお願いたします。

当日は多くの会員様が旧友との再会に心弾ませて、思い出話の花を咲かせる場となるよう、おもてなしの気持ちを第一にスムーズな会の運営に努めてまいります。幹事一同、皆様のご出席を心よりお待ちしております。

尚、総会・合同懇親会開催の会場にて、今年度で十周年を迎えることになりました三稜会懸賞論文(稲葉真弓賞)に関する特別企画を計画しているところですが、こちらの方もお待ちしております。できればと思っております。

最後になりますが、津島高校の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍を祈念し、幹事学年代表の挨拶とさせていただきます。

高校42回生代表幹事 伊藤 寿浩

令和元年度 三稜会総会次第

【総会】

日時 令和元年九月二十九日(日)
受付 午前十時三十分～
総会 午前十一時三十分～

会場 ホテルキャッスルプラザ 三階「孔雀の間」

- 一 開会の言葉 幹事学年(司会) 杉村 定則
- 二 幹事学年代表挨拶 幹事学年代表 伊藤 寿浩
- 三 物故者への黙祷
- 四 会長挨拶 三稜会会長 北角 浩一
- 五 校長挨拶 校長 大野 芳樹
- 六 勤続十年者への感謝状贈呈 三稜会会長 北角 浩一

- 七 議長選出・挨拶 (伊藤和明前教頭・立松秀樹教諭 計2名)
議長(幹事学年) 前田 知史
- 八 議事 議長(幹事学年) 前田 知史

- (1) 平成三十一年度役員選出
- (2) 平成三十一年度事業報告・平成三十一年度事業計画の報告
- (3) 平成三十一年度決算報告・平成三十一年度予算の報告
- 九 閉会の言葉 幹事学年(司会) 杉村 定則
- ※記念写真撮影 卒業後五十年会員 十二時三十分～
(高二十二回生・定十九回生)

【懇親会】

日時 令和元年九月二十九日(日)
受付 十二時～ 懇親会 十三時～

会場 ホテルキャッスルプラザ 四階「鳳凰の間」

- 一 開会の言葉 幹事学年 鈴木 信行
- 二 会長挨拶 三稜会会長 北角 浩一
- 三 卒業五十年会員表彰式
- 四 校歌斉唱
- 五 『三稜の鍵』継承式
- 六 次年度幹事学年(四十三回生) 代表挨拶 伊藤 欽章
- 七 万歳三唱 幹事学年 鈴木 信行
- 八 閉会の言葉
- 九 幹事学年 鈴木 信行

【ホームカミングデー】※懐かし母校へお越しください！

日時 令和元年九月四日(水)「津島高校三稜祭当日」
午前九時から(受付八時三十分～)

会場 津島高等学校
(注) 昨年度からホームカミングデーは母校の文化祭当日に開催しています。なお、台風等の悪天候のため順延する場合があります。

三稜会幹事学年を終えて



北角会長から感謝状を贈呈される蓼田代表

私たち四十一回生が幹事学年として久しぶりに集い、昨年度の「三稜会総会・懇親会」を無事に終えることができました。これもひとえに三稜会役員の皆様をはじめ学校や恩師、諸先輩方のご指導、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

「三稜会総会・懇親会」は百二十周年を見据え、昨年度より会場を名古屋市内に変更しました。一つ一つの準備が手探りでしたが、諸先輩方のご助言をいただきながら、四十一回生が一致団結し目標に向け共に活動することで新たな絆が生まれ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

また、記念事業といたしましてささやかではございますが、「製氷機」を寄贈させていただきました。後輩の皆さんに少しでもお役に立てればと思います。

最後になりますが、母校と三稜会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念し、御礼の挨拶とさせていただきます。

高校41回生代表 蓼田 景士

■ 平成31年度 三稜会事業計画(案) ■

- 校内事務局打ち合わせ 令和元年5月16日(木)職員会議後
- 第1回三稜会理事会・幹事会 令和元年5月25日(土)
 - 事業報告 (2) 事業計画
 - 会計(三稜会・三稜育英会)報告 同監査報告 (4) 予算案
 - 役員改選 (6) 総会に関する事(幹事学年42回生)
 - 平成30年度稲葉真弓賞(第9回三稜会懸賞論文)表彰
 - その他(創立120周年記念事業に関する事)
 ※創立120周年記念事業実行委員会
- 三稜会会報(第68号ならびに別冊)の発刊 令和元年7月9日予定
- ホームカミングディ 津島高校三稜祭(文化祭)当日
令和元年9月4日(木)(予備日9/5)
- 平成31年度総会・懇親会
(幹事学年: 高校全日制42回生・定時制39回生)
○総会 令和元年9月29日(日) 10時半より(会場: キャッスルプラザ)
 - 役員改選
 - 津島高等学校勤続10年表彰
 - 平成30年度事業報告・平成31年度事業計画(案)の報告
 - 平成30年度決算報告・平成31年度予算(案)の報告
 ○懇親会: 総会当日午後 受付12:00 開始13:00
(会場: キャッスルプラザ)
- 第2回三稜会理事会・幹事会 令和2年2月予定
- 三稜会入会式(全日制第72回生) 令和2年2月27日(木)
(注: 3/1 日曜のため)
卒業証書授与式 2月28日(金)(全日制第72回生・定時制第69回生)

■ 平成31年度 三稜育英会事業計画(案) ■

- 理事会・評議員会 令和元年5月25日(土) 於: 応接室
 - 事業報告 (2) 事業計画 (3) 会計報告 同監査報告
 - 予算案 (5) 役員改選
- 平成30年度稲葉真弓賞(第9回三稜会懸賞論文)選考会
令和元年5月11日(土)
- 平成30年度稲葉真弓賞(第9回三稜会懸賞論文)表彰式
令和元年5月25日(土)幹事会にて(会場: 興学館稲葉真弓コーナー)
- 平成31年度稲葉真弓賞(第10回三稜会懸賞論文)募集
10月要項配布予定(題「新時代」)
募集期間 令和元年11月1日～令和2年1月31日
- 学校クラブ活動に対する補助及び学校設備等の改善援助

■ 平成30年度 三稜会事業報告 ■

- 校内事務局打ち合わせ
平成30年4月19日(木)職員会議後 於: 会議室
- 第1回三稜会理事会・幹事会
平成30年5月26日(土) 於: 応接室・興学館
 - 事業報告 (2) 事業計画
 - 会計(三稜会・三稜育英会)報告 同監査報告
 - 予算案 (5) 役員改選
 - 平成30年度総会と懇親会の日程について(幹事学年41回生)
 - 稲葉真弓賞(三稜会懸賞論文)の選考結果について(審査委員会)
 - 三稜賞表彰について
 - その他(創立120周年記念事業について)
- 三稜会会報(第67号ならびに別冊)の発刊 平成30年7月1日発刊
(例年より1か月早まる)
- ホームカミングディ 同窓会受付担当: 幹事学年41回生
津島高校三稜祭(文化祭)当日 平成30年9月5日(木)※台風順延
- 平成30年度総会・懇親会
(幹事学年: 高校全日制41回生・定時制38回生)
○総会 平成30年9月23日(日)10時半より(会場: キャッスルプラザ)
 - 役員改選
 - 津島高等学校勤続10年表彰
 - 平成29年度事業報告・平成30年度事業計画(案)の報告
 - 平成29年度決算報告・平成30年度予算(案)の報告
 ○懇親会: 総会当日午後 受付12:00 開始13:00
(会場: キャッスルプラザ)
- 周年事業に向けての役員の打合せ
平成30年10月31日(土) 於: 応接室
- 第2回三稜会理事会・幹事会
平成31年2月2日(土) 於: 会議室・興学館
- 三稜会入会式(全日制第71回生) 平成31年2月28日(木)
於: 津島高校三稜館
卒業証書授与式 3月1日(金)(全日制第71回生・定時制第68回生)

■ 平成30年度 三稜育英会事業報告 ■

- 理事会・評議員会 平成30年5月26日(土) 於: 応接室
 - 事業報告 (2) 事業計画 (3) 会計報告 同監査報告
 - 予算案 (5) 役員改選
- 平成29年度稲葉真弓賞(第8回三稜会懸賞論文)選考会
平成30年5月12日(土) 於: 応接室
- 平成29年度稲葉真弓賞(第8回三稜会懸賞論文)表彰式
平成30年5月26日(土) 幹事会にて
- 平成30年度稲葉真弓賞(第9回三稜会懸賞論文)募集
10月要項・ポスター配布 題「日本」
募集期間 平成30年11月1日～平成31年1月31日

平成30年度 三稜会(一般会計)収支決算書

自平成30年4月1日
至平成31年3月31日

収入総額	1,845,026	円
支出総額	2,020,276	円
差引残額	-175,250	円

収入の部

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要	31年度予算額
入 会 金 収 入	1,875,000	1,845,000	△ 30,000	全日348名、定時21名、計369名	1,875,000
繰 越 金 よ り	0	0	0		0
そ の 他 の 収 入	100	26	△ 74	利息	100
合 計	1,875,100	1,845,026	△ 30,074		1,875,100

支出の部

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要	31年度予算額
会 報 費	1,300,000	1,519,319	△ 219,319	会報・別冊印刷代	1,300,000
慶 弔 費	50,000	26,200	23,800		50,000
生 徒 記 念 品 費	100,000	194,670	△ 94,670	卒業証書入れ代金	180,000
会 議 費	60,000	40,574	19,426	茶菓代等	60,000
事 務 費	250,000	164,813	85,187	郵送費等	170,000
そ の 他 の 支 出	115,100	74,700	40,400	中日ホームサービス広告料他	115,100
合 計	1,875,100	2,020,276	△ 145,176		1,875,100

注: 来年度卒業予定者数375

当 年 度 収 支 差 額	0	△ 175,250			0
前 年 度 繰 越 総 額	4,078,010	4,078,010		前年度貸借対照表より	3,902,760
繰 越 金	△ 175,250	△ 175,250			0
次 年 度 繰 越 総 額	3,902,760	3,902,760			3,902,760

備考: 各科目間の流用を認める。

三稜会(一般会計) 貸借対照表

平成31年3月31日現在

科 目	金 額	(円)
I. 資産の部		
普通預金		
普通預金 三菱UFJ銀行 津島支店	3,902,760	

平成30年度 一般財団法人三稜育英会 収支決算書

収支予算書(案)

自平成30年4月1日
至平成31年3月31日

収入総額 3,172,037 円
支出総額 2,460,391 円
差引残額 711,646 円 翌年度への繰越額

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

(金額単位: 円)

収入の部	科 目	予算額	収入済額	増 減	摘 要	31年度予算額
	三稜会祝賀会からの寄付金	700,000	191,917	△ 508,083		700,000
	三稜育英会募金	500,000	345,000	△ 155,000		500,000
	三稜文庫充実費募金	100,000	120,132	20,132		100,000
	松の木保全対策費募金	100,000	110,254	10,254		100,000
	稲葉真弓コーナー募金	100,000	106,082	6,082		100,000
	三稜懸賞論文協賛者からの寄付金	800,000	800,000	0		800,000
	繰越金より	1,498,500	1,498,500	0		1,498,500
	その他の収入	1,500	152	△ 1,348	利息	1,500
	合 計	3,800,000	3,172,037	△ 627,963		3,800,000

支出の部

科 目	予算額	支出済額	残 額	摘 要	31年度予算額
三稜会總會準備金	500,000	500,000	0		500,000
三稜文庫充実費	100,000	0	100,000		100,000
松の木保全対策費	100,000	0	100,000		100,000
三稜懸賞論文	800,000	613,720	186,280		800,000
三稜 賞	100,000	41,092	58,908		100,000
学校クラブ活動に対する補助	1,000,000	318,955	681,045	海外研修、日本とタイの 交流事業諸費用、懸垂幕、 製氷機	1,000,000
学校設備等の改善援助金	1,000,000	915,624	84,376	興学館・旧講堂屋根樋清 掃、興学館底、時間割作 成ソフト	1,000,000
稲葉真弓コーナー	100,000	0	100,000		100,000
雑 費	100,000	71,000	29,000		100,000
合 計	3,800,000	2,460,391	1,339,609		3,800,000

当年度収支差額	0	711,646			0
前年度繰越収支差額	18,499,855	18,499,855		前年度貸借対照表より	17,713,001
繰入金	△ 1,498,500	△ 1,498,500			△ 1,498,500
繰越金支出	0	0			0
次年度繰越総額	17,001,355	17,713,001			16,214,501

備考: 各科目間の流用を認める。

(円)

一般財団法人三稜育英会
貸借対照表

平成31年3月31日現在

科 目	金 額
I. 資産の部	
普通預金	
普通預金 三菱UFJ銀行 津島支店	17,713,001

	前 年	繰越金	本 年
松の木保全対策費	1,914,373	110,254	2,024,627
三稜文庫充実費	578,219	120,132	698,351
稲葉真弓コーナー	2,596,246	106,082	2,702,328

平成31年度 三稜会役員等（案）																								
相談役																								
津田はるみ 高4																								
理事																								
河村 茂 高29																								
岡田 貞雄 高6																								
後藤 秀彦 高13																								
田中 秀彦 高13																								
千賀 修一 高14																								
渡辺 勝 高14																								
横井 義一 高15																								
半田 貢 高20																								
水谷 正照 高20																								
横井 五六 高27																								
顧問																								
佐藤 忍 高17																								
大野 芳樹 高31																								
校長 新規																								
会 長																								
北角 浩一 高32																								
副会長																								
東海 広光 高21																								
鈴木 睦 高23																								
長谷川 実 高29																								
服部 隆宏 高29																								
神田 昭雄 高32																								
常任理事																								
片岡 静子 高19																								
寺田 百合 高23																								
青山 道男 高24																								
石川 鑑一 高25																								
水谷 靖 高31																								
大野 広樹 高34																								
水谷 弘正 高35																								
三稜会事務局																								
水谷 忠司 高26																								
諸戸 義巳 高27																								
山田 潤 高27																								
牛田 正之 高28																								
平井 章博 高29																								
三好 裕 高31（会報）																								
黒澤 康敏 高34																								
村松佳代子 高36（会報）																								
星野 孝之 高36																								
長崎 拓馬 高64																								
立松 秀樹 高35（会計）																								
平野 和枝 高36（三稜論文）																								
山田 真人 高53（三稜論文）																								
（教職員三稜会）																								
丹後 茂 事務局長（教頭）																								
小笠原正士 高32（書記）																								
山岸 功治 高26																								
横橋 俊一 高37 新規																								
伊藤 欽章 高43																								
伊藤 嘉啓 高59																								
伊藤 寿浩 高42																								
伊藤 景士 高41																								
日比 康詞 高40																								
安藤 公一 高39																								
服部 昭弘 高39																								
吉川 智幸 高60																								
市川 誠二 高38																								
馬場 孝道 高36																								
伊藤 紀彦 高36																								
尾崎 千尋 高35																								
岩田 政久 高34																								
伊藤 憲司 高33																								
伊藤 仁一 高32																								
伊藤 憲司 高32																								
（会計）新規																								

恩師のたより

近況報告

一組担任

加賀 正憲 先生



三年前に四
十三年間(三
十八年は正規
五年は週三日
の再任用)の

教員生活を終え、今は無職です。無職といっても仕事がないわけではなく、家に居れば居るで、やらねばならないことがいろいろあり結構忙しい日々を送っています。庭木の剪定、草取り、少しばかりの野菜作りなどを妻と二人で分担しながらやっています。時間に追われない生活は気持ちよく、気に入っています。のんびりした生活をしていても、年齢を重ねれば重ねるほど時が経つのは速く、私も今年古希を迎えました。

津島高校には、教員生活十三年目から十一年間お世話になりました。先生方や生徒の皆さんに助けてもらい、充実した教員生活を送れたことには感謝、感謝です。今、思うに、津島高校の魅力は、自由でのびのびとした校風にあったように思います。それ故か、生徒の皆さんは自主性があり、諸活動に積極的に、しかも楽しそうに取り組んでいました。そんな学校生活、人間関係の中で、「守るべきルール」というものが自ずと定まっていたのではないのでしょうか。津島高校での十一年間は、私に多くのことを学ばせてくれました。このような高校を進学を選択肢として持つ地域の子供たちは幸せです。

近況報告

二組担任

南谷 広視 先生



四十二回生の皆さん、津島高校を卒業してもう三十年で、すか。本当に早いものですね。あの時は津島高校に赴任して三年目で、津島高

校で初めての三年生でした。理系のクラスで個性豊かな人材が揃っていましたね。覚えていますか？卒業後、大挙して我が家にやってきて荒しまくっていたことを。近所からは、「暴走族が集結していたのか？」と尋ねられました。

今、私は教員生活三十七年目。そして、幸いなことに、津島高校全日制に出戻って六年目です。津島高校の校歌は、母校でもないのに、すぐに思い出して歌えました。三番まで全て。改めて、津島高校の最初の九年間が、私の教員生活にとつていかに大きかったかが分かりました。若さも失い、自由になる時間が少ない私は、一年の副担任、部活動も第三顧問で、余り津島高校に貢献できずにいます。しかし、三十五歳で住職を継承して二十三年、「よくここまで頑張れたな。」と、内心思っています。住職として、良き仲間にも恵まれて、定年後も次なる挑戦がいっぱい待っています。写真は、昨年の「子ども報恩講」の様子です。本当の孫も三人いますが、近所のたくさんの方の孫達に囲まれて、幸せな時を過ごしています。是非、三十年前同様、

様、大挙して訪ねてきてください。今度は静かに酒を酌み交わして、人生を語りたい。

感謝

三組担任

石川 鑑一 先生



四十二回生の皆さんは私が津島で最初に担任をした学年です。皆さんと過ごした三年間は、実に思い出深い三年間でした。皆さんの屈託のない笑顔に囲まれる時、幸せを感じました。一方、悩む顔を見る時、なんとかうまく悩みを解いてやろうとしましたがなかなかうまくいかず未熟さを思い知らされたものでした。皆さんと過ごした母校津島、ここで出会った生徒諸君が成長していく姿に自分自身も成長させてもらった事、本当に感謝しています。私は四年前に退職しました。

現在は再任用で高校へ勤務するかわら、小学生を相手に児童クラブ、保護司となかなか忙しく過ごさせていただいています。歳を重ね社会とかかわり方も変わってきたと思いますが、何かしら社会貢献できたかと考えています。皆さんも健康には十分留意してください。最後に同窓会幹事、ご苦労さまでした。久しぶりに同級生が集り、同窓会を成功させる為に費やした時間と味わった達成感は今後の人生において必ずや良い思い出となつたでしょう。ありがとうございます。

した。皆さんの一層のご活躍を祈念しています。

近況

四組担任

伊藤 茂文 先生



四十二回生の皆さん、二十代三十代の学びと経験を活かして、充実した毎日をお過ごしのことと思います。最近の様子などを少し紹介させていただきます。皆さんが卒業された後、平成九年四月に津島高校から他校へ異動となりました。そして、二つの県立高校を経て、平成二十二年四月から平成二十五年三月の定年まで三年間、再び津島高校にお世話になりました。

それから五年間、再任用教諭として週に二日半勤務し、昨年四月より海部地区の県立高校で非常勤講師として週三日ほど勤めながら現在に至っています。

現役時代より家にいる時間が長くなって、主夫としての仕事が増えてきました。買い物は食料や家庭用品が中心です。家事や草刈りの隙間時間に本を読んだり、映画を見たり、写真を撮ったり、旅行に出かけたりしています。また、定年後からは外部コーチとして、津島高校ソフトテニス部の応援を続けさせていただいています。四十二回生の皆さんが、健康に留意され、ますます活躍されることをお祈りいたします。

私と津島高校

五組担任

瀬見井良子 先生



桜咲く四月、花の下で、クラス写真を撮ってから、はや三十余年の月日が流れたのです。まったく夢のように流れ去った日々でした。みなさんは、今、それぞれの立場は色々でも重責を担って活躍されておられることと思います。どうかがんばってください。私はのんびりと家事と果樹の世話などをしております。果物で成るものをあげますと、ネーブル、みかん、ハッサク、ゆず、柿、ジュンベリー、パンペイ柚、びわ、くりなどです。パンペイ柚は人の頭ほどの大きさで、果実としてはおそらく最大級の大きさではないかと思っています。

さて、津島高校には長い伝統があり、我が家でも姑(津島高女)夫(生徒)、娘(次女。生徒、私(職員))と四人がお世話になりました。長い伝統の中に私の家族が含まれていることを、誇りに思っています。

校舎の中でも西の南館から北館へ通じる渡りから見ると多度山に沈む夕日の美しさを、今も忘れることができません。先日「恩師のたより」を送っていただき、誠にありがとうございました。同じ時空を共有できた私達は津島高校の発展を祈念しつつ、

日々を送ろうと思います。健康に留意され、目標にむかって努力をされるよう願っています。

和敬(わきよう)

六組担任

横山 了祥 先生



平成元年度第四十二回生の皆さんお元気ですか。平成も三十一年半ばで終わり、新元号を考えていたら、和敬という言葉にはまりました。この言葉は、お経(佛説無量壽經)の中に出てくる「修六和敬」のこと、身・戒・度、口・言・葉、意・心・戒、戒・戒、見・見・解、利・利・自利の修行、の六種について、修行者が互いに仲良く敬い合うという意味です。

退職後、仕事がいっぱいある人々の生き方に接する機会が多くなりました。学校で学ぶことは、幅広い知識・教養ですが、この知識を生かしていくも殺していくも、人間の智慧が重要だと思われ知らされています。人間とは、人の間、一人で生きていくのではなく、どうして多くの人とのつながり(縁)を避けることはできません。だから、いやなことでも仲良くできる悟りの境地が必要なんです。

さて、古希七十歳を過ぎた今、三四郎という表計算ソフトのマクロ作成で、頭の体操をしています。数学の分析力が役立っています。あれこれ予想パソコンがうまく動く気分爽快です。静から動へ、一次元から四次元へ、もやもやを明瞭に、という数学的思考・構成方法はすばらしい。

津島高校の伝統は、人間形成を重んじる校訓「知・仁・勇」に護られています。まさに、ここ母校に、学生が仲良く敬い合い、思考自由で多次元の学修行「和敬」

がありました。新元号が「令和」と決まりました。仏教的には「りょうわ」と発音します。皆さんのご活躍を楽しみにしています。

四十二回生の皆様

七組担任

大橋 一範 先生



三月もまもなく終り、桜の季節に移ろうとしています。四十二回生の皆さん、ご卒業後三十年たちますが、お元気で活躍されていることと思います。

私が初めて津島高校に赴任したのは、三十四年前の丁度同じようなこの時期でした。伝統校にふさわしい佇まいの正門、道を挟んで両側に広がるグラウンド、当時も部活動が盛んで、勉強と部活動の両立で生徒の皆さんはよく努力していたと思います。四十二回生の皆さんの学年に所属させていただき、充実した日々を送ることができました。いくつかの部の顧問をさせていただき、時には県大会への引率も経験することができました。皆さんが卒業されて、しばらくしてから私も転勤しましたので、この三年間が特に思い出深いものになっております。他校をいくつか経てから二十年以上たって、再任用教員として、もう一度津島高校の教壇に立たせていただきました。印象は以前の時とほぼ同じで、やはりいつまでも伝統が受け継がれていると感じました。私はその後、美和高校、そして現在は津島北高校に勤務しておりますが、この三月で退職することとなります。

最後にありますが、四十二回生の皆さんの益々のご活躍とご多幸を祈念いたします。

近況報告

八組担任

後藤 昭男 先生

第四十二回生の皆様お久しぶりです。

私は今年七十七歳になりました。三十年を引き返すと、四十七歳、ちょうど皆様の年齢くらいと思います。皆様と同じくいろいろの年齢の私が、生徒の皆様と出会ったわけです。

過去を振り返ることが苦手な私です。で、未来志向的に近況報告をさせて頂きます。

私の若いころからの趣味は、登山と絵を描くことでした。

退職してからは、山に行つた時は、写真を撮ってきてそれを絵にしたりしています。

十年前、荻須美術館で個展をしました。

登山と絵に関して私が感動している二人の先輩がいます。年を重ねて益々成長発展をしていく姿に驚きます。

それは三浦雄一郎氏と北斎です。

私の近況は、以上です。

皆様のこれからのご活躍とご幸運を祈念しています。



古稀の春

九組担任

平野 清 先生



御卒業三十年おめでとうございます。アルバムやクラス文集を見ると、時の流れの早さに驚くと共に、懐かしさで一杯です。昭和六十三年と平成元年に皆様と出会いました。申し訳ないことに、当時のことは殆んど覚えていません。きつと節度のある落ち着いた優等生ばかりだったからでしょう。十九世紀最終年創立の旧制三中の伝統は、浅学非才の私にとって、荷が重過ぎたようです。ただTVで合唱コンクールの曲「冬が来る前に」や「翼をください」が出て来ると、思わず口遊む程です。

副担任の内田俊弘先生には大変お世話になり、感謝しています。「人が生きていくうえで、どうしても譲ってはならない大切なことと、本当はどうでもよいことがあることです。両者をはっきり分けることができる、人生の知恵をみがいにくれることを切望します。」との先生のお言葉は、今も忘れられません。

平成二十七年三月、退職した私は「仕事なく将棋さんまい古稀の春、津島のことも夢のまた夢」となりました。しかし「運鈍根」に恵まれた私は、昭和↓平成↓令和と二度の改元を見て、お陰様で悉く暮らしています。

卒業生の皆様、呉々もお体を大切にされ、健康第一に幸福な生活をご過ごされますよう、祈念申し上げます。

信頼の関係

十組担任

串田三九二 先生



定年退職して八年になります。今年も非常勤講師として、高校に週二日、医療系専門学校に一日勤務をしています。専門学校の三コースに携わっています。津島高校時代に看護婦や医療技術関係の進路希望者に対する補習を懐かしく思いながら、今度は一歩先を行く学生の講義にあたっています。そんな中、一月半ばにスキーで右肩鍵板を断裂して入院する羽目になりました。三月初旬に手術して一ヶ月程入院しましたが、初めてのリハビリは大変貴重な体験となっております。

たくさんのお世話になりました。今教えている専門学校の将来の姿です。出身が商業高校の人、文系大学から方向転換した人、機械関係の資格を幾つも持つP.Tに転身した人などさまざまな経歴ですが、共通して感じるのは、大変自分の技術向上に対するモチベーションが高いことと患者の思いに寄り添う姿勢です。津島高校の卒業生にも出会いました。彼には自分の体で試行しながらスキル向上に打ち込んでいくことや現在のリハビリ医療の課題について聞くことができました。私のリハビリはまだ何か月も必要ですが、P.T達の自信に溢れた技術に強い信頼を感じています。この信頼は医療の場だけでなく、教育や皆さんの職場にも必要なものではないでしょうか。

卒業して三十年、職場の要として活躍している人が多いと思います。信頼関係を大切にして共々頑張っていくましよう。

▼平成31年 大学合格者状況

	大学名	平31		大学名	平31		大学名	平31
国立	北海道教育大	1	私立	創 価 大	8	私立	名 外 語 大	2
	山 形 大	2		東京理科大	1(1)		名 女 大	26
	富 山 大	1		日本体育大	3		名 学 芸 大	18
	福 井 大	8		明 治 大	1		名 文 理 大	10
	信 州 大	1(1)		中 央 大	1(1)		名 造 形 大	4
	静 岡 大	7(1)		東 海 大	2		南 山 大	64(1)
	岐 阜 大	11		神 奈 川 大	1		日 福 大	5
	名 古 屋 大	10		岐阜聖徳学園大	21		日 赤 豊 田 大	4
	愛知教育大	12(1)		岐阜女子大	1		一宮研伸大	1
	名古屋工業大	6		東海学院大	1		藤田医科大	9
	三 重 大	16		岐阜医療科大	5		星 城 大	2
	大 阪 大	2		愛 知 大	162(3)		名 城 大	101
	神 戸 大	1(1)		愛知医科大	2		皇 學 館 大	6
	高 知 大	1		愛知工業大	68		鈴鹿医療大	11
	福岡教育大	1(1)		愛知淑徳大	134(6)		四日市看護	4
	富山県立大	3		愛知学院大	65(1)		四 日 市 大	2
	福井県立大	6		桜花学園大	7		同 志 社 大	12
	諏訪東京理科大	3		金城学院大	20		立 命 館 大	17
	静岡県立大	2		修 文 大	1		関 西 大	7
	公立小松大	1		椙山女学園大	39		近 畿 大	1(1)
公立	岐阜県立大	1	公立	大 同 大	15	私立	私立大計	994(13)
	愛知県立大	13		中 京 大	51		岐阜市立女短	6
	名古屋市大	9		至 学 館 大	7		名 古 屋 短	6
	三重県立大	1		中 部 大	53		名 女 大 短	4
	福 知 山 大	1		東海学園大	10		三 重 短	4
	神戸市外国語大	1		豊田工業大	1		愛 知 大 短	2
	鳥取環境大	1		名 学 院 大	14		短 大 計	18
	国 公 立 大 計	122(5)						

▼最近4年間卒業生動向

		平成31年	平成30年	平成29年	平成28年
卒業生数	女	348	173	357	172
	男	175	185	179	174
大学進学	女	298	150	318	153
	男	148	165	305	164
短大進学	女	7	0	7	7
	男	7	0	0	0
専・種各学	女	13	3	16	9
	男	10	7	24	20
文科省外大	女	0	0	0	0
	男	0	0	1	1
浪人	女	29	5	11	2
	男	24	9	12	10
就職	女	1	0	0	0
	男	1	1	0	1
その他	女	0	0	2	1
	男	0	3	1	0

ホームページのご案内

三稜会では、創立110周年記念事業の一環として、諸先輩のご尽力をいただきながらホームページを立ち上げました。多くの卒業生の方々のお陰で、様々な情報を発信することができるようになりました。

ますます情報化が進み、浸透して行く今日、当会においても情報の発信をより広く、スピーディーに行うために、ホームページを積極的に利用活用したいと考えております、その一環として、まずはリニューアルを行いました。

今後、皆様からのアイデアをいただきながら、新しい時代にマッチした変化を目指していきたくと考えております。何卒、ご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

<http://www.sanryokai.com>

卒業生の活動、活躍などお知らせください。
またご意見などいただければ幸いです。

info@sanryokai.com

ホームページ担当 北角浩一（32回生）

つれづれ編集後記

今年も無事会報が発行できました。今回は第六十八号です。第一号の会報は戦後日も浅い昭和二十四年十二月二十二日発行でした。以来半世紀以上にわたり、今回令和最初の会報となります。これもひとえに成果を出し続けてくれた現役の生徒諸君や教職員の皆様、それを支えて

きた歴代の役員をはじめとする同窓生の皆様のご協力あつてのことと紙面をお借りして御礼申し上げます。

来年母校は創立百二十周年を迎えます。激動の時代を乗り越え、未来へと続いていくために皆様のお力添えをお願い申し上げます。

日頃は、母校津島高校のために多大なる御支援をいただき感謝申し上げます。特に昨年度は、AEON1%クラブ主催の「日本タイティーンエイジアンバサダー」に本校の生徒十名が、タイの高校生と相互訪問を行いました。十月の日本プログラムでは、東京でタイの生徒を迎え入れたレセプションに参加しました。外務省を訪問し、外務大臣のお話を直接伺う機会をいただきました。また、津島高校では、タイの学生十名に日本の伝統文化を体験させました。地元の銘菓「くつわ」「あかだ」を体験してもらい、津島神社では、日本式の正しい参拝方法を体験してもらいました。

高校総体尾張予選会では例年以上に女子部が活躍しました。陸上部女子が総合優勝とトラックの部優勝、女子ソフトテニス部も団体優勝、女子ハンドボール部は準優勝、女子バスケットボール部が第3位と団体やチームスポーツでの躍進が目立ちました。男子でも陸上部は総合優勝とトラックの部優勝、ソフトテニス部男子は団体第三位、サッカー部・卓球部男子（五位）、ハンドボール部男子（六位）と、こちらも団体での県大会出場が「チーム津島」を象徴する結果となりました。

母校の近況報告

しました。また、一月には「カケハシプロジェクト」によるアメリカ合衆国への研修に三名の生徒が派遣されました。例年のオーストラリア語学研修も含め、それぞれの研修において、同窓会には物心両面で取組を支えていただき、誠にありがとうございます。

部活動では、今年も多くの生徒たちが参加しています。全校生徒の93%が何らかの部活動に参加し、心と体を日々鍛えています。